

番外1 身近の自然を楽しむ 初秋の野川縁りの植物

Enjoy the surrounding nature: Plants along the Nogawa River in early autumn

2022/9/17

吉野輝雄

9月半ば、野川縁を歩いた。目的は、大学生が小学生をガイドする野川の自然観察・体験プログラム（主催：“水リテラシーオープンフォーラム”）（*1）の下見であった。実は、8/6「水の日」に「夏の自由研究 歩いて、作って、水を知ろう」（*2）として募集、実施することになっていたのだが、コロナの急拡大と猛暑による熱中症リスクを考慮し10/23に延期したので、5人で秋の野川縁の下見を行なった。この日の前後は、大型台風の影響で全国的に異常な天気が続いていたが、幸いなことに三鷹の野川公園近辺は、穏やかな秋日和に恵まれた。

下見は先ず、大沢の箕輪さんの古民家（ワサビ栽培で有名）と最近まで稼働していた水車小屋を訪問し、野川と両岸の自然（動植物）を見ながら、国分寺崖線（高低差約20mの河岸段丘）から流れ出る湧水を訪れた。その川底の石に棲む小動物を観察。さらに自然観察園の中を歩いて秋の花々を見ながら名前を確認。最後に、公園の草地に座って、湧水と野川の水質検査を行った。

ここでは、主催グループに送った下見報告（*3）とは別に、下見中に撮影した野川縁の植物を紹介する（クイズ付きなのでチャレンジしてみてください）。

秋の七草の中の3種に出会えた。また初めて、山ホトトギス、マルバ盗人萩、黄花アキギリにも出会えた。その他に、秋を代表する花々（シュウカイドウ、赤・白の彼岸花の群生、ガマ、クサギの花と実、コムラサキのその名の通り艶やかな小粒の実）を見ることができ、興奮（これがチムドンドン？）しながら写真に収めた。

珍しい白花曼珠沙華（別名、リコリス）の群生の周りには、カメラを持った多くの人が集まって写真撮影していた。なお、古民家の庭で、紫草（ムラサキ）の復活が試みられていた。なぜそんなに貴重なのでしょうか？

*1 「水リテラシーオープンフォーラム」とその活動歴

<https://waterliteracy.wixsite.com/wlof2022/about-us>

<https://waterliteracy.wixsite.com/wlof2022/our-work>

*2 野川 野外学習 2022 の案内

http://subsites.icu.ac.jp/people/yoshino/WLOF_FieldStudyNogawa2022.jpg

*3 野川下見報告 2022

<http://subsites.icu.ac.jp/people/yoshino/NogawaFieldStudyPlan2022.pdf>